

年末年始、地域安全に

可児署が特別警戒出発式

11日から始まった年末年始地域安全運動に合わせた特別警戒の出発式が、可児市広見の広見地区センターで行われた。可児地区の防犯協会、交通安全協会の関係者らが管内の商業施設な

どに向かい、同運動の広報啓発活動をした。出発式には、関係者ら約100人が参加した。高木晃可児署長は「管内では無施錠の車両が狙われたり、タイヤを盗まれるなど身近

な犯罪が多い。犯罪被害、悲惨な交通事故を減らすために一丸となって特別警戒に取り組んでいきたい」と訓示した。

一日署長を務めた、岐阜信用金庫可児支店の渡辺愛梨さん、岐阜商工信用組合可児支店の中村杏衣さんの「地域住民が安心して新年を迎えられるようにしよう」という掛け声で、関



出発式で特別警戒に向かう白バイやパトカーなど
＝可児市広見、広見地区センター

係者が特別警戒へと出発した。白バイやパトカーが通過していくと、ひろみ保育園すくすくの年長児が「いってらっしゃーい」と元気な声で見送っていた。

(小森孝美)